



環境省
エコアクション21
認証番号 0013348

2023

ATC環境経営レポート

ATC Environmental Management Report

発行日 2024年9月30日



アジア太平洋トレードセンター株式会社

大阪市住之江区南港北2丁目1番10号
TEL. 06-6615-5000

<https://www.atc-co.com>



アジア太平洋トレードセンター株式会社



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025



©Expo 2025



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



GREEN PRINTING JPP1
P-K10002



VEGETABLE
OIL INK



ミックス
紙1責任ある森林
管理を支えています
FSC
www.fsc.org
FSC® C016129

人・モノ・情報が集う出会いの場



ごあいさつ

当社は、大阪ベイエリアの咲洲(さきしま)地区で、大型複合施設「ATC」を運営しております。延べ床面積33万㎡に及ぶ建物には、オフィスやショールーム、レストラン、物販店舗にご入居いただき、「ATCホール」では展示会、イベントなどの貸館や自主企画イベントを実施し、多数のお客様にお越しいただいております。また、介護福祉、環境ビジネス、輸入住宅建材等の常設展示場やデザイナー・クリエイターの創業支援施設を大阪市とともに運営し、当館を利用したIoT、RT(ロボットテクノロジー)を活用した実証実験などの取り組みを通じて、社会課題の解決や地域活性化にも積極的に取り組んでおります。

2025大阪・関西万博まで1年をきり、当館には国内外の万博関連企業にご入居いただいております。「エコアクション21」の取り組みを通じて環境経営を推進し万博のテーマの1つでもあるSDGsの達成に貢献することで、今後とも国内外の企業に選んでいただける施設を目指すとともに、地域の施設・企業・団体や住民の皆様とともに大阪ベイエリアの持続可能な発展に寄与して参ります。

環境経営方針

環境経営理念

大阪ベイエリア咲洲地区で大型複合施設「ATC」を運営する当社は、不動産賃貸及び管理、催事・展示会の企画及び開催、各種の公共施設の運営を通じて、国連が定めた持続可能な開発目標 (SDGs) を踏まえた地球温暖化問題への取り組みを積極的に推進し、持続可能な地域の発展に寄与するため、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

ATC 行動基準(※)に則り、環境保全と規律維持に努めます。

事業活動を通じて、以下に継続的に取り組み、地球温暖化の緩和と持続可能な社会の構築に貢献します。

1. 二酸化炭素排出削減
2. 廃棄物排出削減
3. 水使用量削減
4. グリーン調達・グリーン購入の推進

企業、団体、自治体等と協働で環境や社会問題解決に率先して取り組み、産業を振興することでベイエリアを中心とした地域活性化につなげます。

来館者、取引先、株主、従業員などステークホルダーのみなさまと積極的にコミュニケーションをはかり社会の要請に応じた企業価値の向上に努めます。



ATC 行動基準 (※)

- 1 法令等の遵守
ATCは、法令の遵守はもとより、あらゆる場面で人権を尊重し、社会的良識をもって行動します。
- 2 社会的に有用なサービスの提供
ATCは、多様化する消費者等のニーズに応えるとともに、安全かつ有用なサービスの提供に努めます。
- 3 長期的視野にたった経営
ATCは、短期的な収益のみにとらわれず、常に長期的な視野に立った経営を行います。
- 4 公正な取引
ATCは、公正かつ自由な競争の確保が市場経済の基本ルールとの認識のもとに商活動を行い、また、政治・行政との健全かつ正常で透明な関係を維持します。
- 5 企業情報の開示
ATCは、株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションをはかり、積極的に企業情報を正確かつ公正に、適時開示します。
- 6 環境保全への配慮
ATCは、環境問題への配慮を常に忘れず、自主的、積極的に取り組みます。
- 7 社会貢献
ATCは、企業の利益と社会の動きを調和させ、『よき企業市民』としての役割を積極的に果たします。
- 8 働きやすい職場環境の実現
ATCは、従業員のゆとりと豊かさを実現し、働きやすい環境を確保するとともに、従業員の人格・個性を最大限に尊重し、自由闊達で創造性の発揮できる企業風土を実現します。
- 9 反社会的勢力及び団体との対決
ATCは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力及び団体には断じて屈しません。

目次

環境経営方針	万博関連イベント&TOPICS	環境経営組織・実績&取組結果とその評価	環境・社会活動
ごあいさつ	2	組織の概要	10
環境経営方針	3	環境経営組織図及び役割・責任・権限表	10
ATC行動基準	3	認証・登録の対象組織・活動	10
		主な環境負荷の実績	11
		環境経営目標及びその実績	11
		環境経営計画の取組結果とその評価	12
		環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	14
		防災対策	15
		数字でみるATCの働き方	16
		環境経営事務局	17
		廃棄物分科会	17
		CO ₂ 分科会	18
		SDGs 分科会	18
		SDGs 取り組み一覧	22
		代表者による全体の評価と見直し・指示	23
		編集後記	23

主な事業内容

常設展示場・インキュベーション施設	4
レストラン・ショップ	4
ウミエール広場	4
オフィス・ショールーム	5
イベントホール	5

主な事業内容

大型複合施設ATCの運営・管理及び施設でのイベントや展示会の企画等を主な業務としています。大阪・咲洲地区の中核施設として、さまざまな方にご利用いただいています。



常設展示場・インキュベート施設

Showroom and Incubation

入居・
出展企業
約**400**
社

大阪市との連携事業

日本最大級の環境ビジネス常設展示場
**おおさかATC
グリーンエコプラザ**
<https://www.ecoplaza.gr.jp>



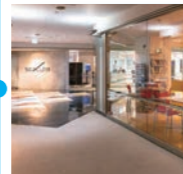
クリエイター独立・創業支援施設
大阪デザイン振興プラザ
<https://www.osaka-design.co.jp>



豊かな高齢社会をめざす
介護と福祉の展示場
**ATCエイジレス
センター**
<https://www.ageless.gr.jp>



先端技術を活用した
ビジネスのサポート拠点
**ソフト産業プラザ
TEQS**
<https://teqs.jp>



世界の住宅建材・部材・設備の
総合展示場
IHPC
<https://www.atc-ihpc.com>



プロジェクト創出 × 人材育成拠点
**iRooBO オープン
テクノロジーセンター**
<https://iroobo.jp>



レストラン・ショップ

<https://www.atc-co.com/restaurant>

屋外でBBQも楽しめるログスカフェやシーサイドテラス（フードテラス）など、カフェ、居酒屋、ファストフードのほか、雑貨や靴、服飾関連の店舗も充実しています。



16 店
ショップ

31 店
カフェ
レストラン

※店舗数は
2024年7月1日現在

ウミエール広場

Umier square

全長450mの海と空に開けたリラックスゾーン。
屋外イベントにも対応しています。



ベイサイドに広がるウミエール広場



海をバックにした海辺のステージ

オフィス・ショールーム

<https://www.atc-building.com>

5坪程度のスモールオフィスから、ワンフロア1500坪の広さまで、様々なニーズにお応えできます。充実の付帯設備も魅力です。



POINT 万博関連企業に ATCが選ばれる**4**つの理由

- 1.万博会場へ車でわずか10分
- 2.博覧会協会や万博関連企業が多数入居し、
打合せ等アクセスが容易
- 3.コンビニ、レストラン、物流機能が充実
- 4.ニュートラムの駅と直結



入居企業
160社
以上

万博会場
まで車で
約10分

イベントホール

<https://atchall.com>

ATC ホール・コンベンションルーム・会議室

ワンフロアで総面積約7,000㎡の多目的ホール、大小あわせて5つのホール、
連動可能な12の会議室によりさまざまなイベントニーズにお応えいたします。



ATCホール
7,000
㎡

- | Aホール(2,900㎡) (分割時1,600㎡、1,300㎡)
- | Bホール(1,130㎡)
- | Cホール(1,000㎡)
- | Dホール(270㎡)
- | Eホール(250㎡)



Aホール



Bホール





社会課題の解決をテーマに 咲洲から官民連携で大阪・関西万博を 盛り上げる「咲洲プレ万博」

未来社会の実証実験展 テクノロジーの“最新”が大集合

実証実験フィールドに見立てた会場に新しいテクノロジーを体験できるデバイスやシステムを展示しました。体験を通して未来社会のテクノロジーや新たなビジネスのタネを見出さずにはいられないイベントになりました。

開催日：2024年3月1日（ビジネスデー）、2日（パブリックデー）
会場：O's棟北館3階ウミエールキューブ
主催：公益財団法人大阪産業局



アバターまつり アバター100体が咲洲に集う!

アバターまつりは一般来場者に「アバター共生社会」を疑似体験してもらい、社会受容性の調査を行うと共に、体験者からのフィードバックを得ることを目的として開催しました。サイバネティック・アバターとよばれる遠隔操作ができるロボットアバターやCGアバターなど100体がATC内の様々な場所に配置され、ATCの施設、店舗、イベント等の案内を行い、体験者から様々なフィードバックをいただきました。

開催日：2023年7月11～20日 会場：ITM棟・O's棟
主催：ムーンショット型研究開発事業目標1「誰もが自在に活躍できるアバター共生社会の実現」研究開発プロジェクト 共催：咲洲プレ万博実行委員会



咲洲プレ万博 SPRING FESTIVAL in ATC

大阪・関西万博開幕の1年前イベントとして万博機運醸成を兼ねた記念イベント「ATC30周年記念咲洲プレ万博SPRING FESTIVAL in ATC」を開催しました。当日は「咲洲 World Healthy Festa!」、「ATC ECO EXPO」、「TEAM EXPO2025 共創チャレンジイベントArt de Peace おえかきコンテスト」のワークショップを実施し、多くの来場者に体験いただきました。



開催日：2024年4月13・14日
会場：海辺のステージ他
主催：アジア太平洋トレードセンター株式会社



大阪歯科万博2023

3日間にわたり開催した大阪歯科万博。日本の歯科医療技術とテクノロジーの融合による最先端の歯科を紹介。連日、国内外から歯科医師や、一般の方、学生さんなどたくさんの方に足を運んでいただける催しとなりました。

開催日：2023年8月4～6日 会場：O's棟南館6階会議室
主催：大阪歯科万博2023実行委員会、株式会社Dental Prediction



多様な人たちがチームを組み、大阪・関西万博と その先の未来に挑む、みんながつくる参加型プログラム

会場：ITM棟11階おおさかATCグリーンエコプラザ
主催：アジア太平洋トレードセンター株式会社
公益財団法人2025日本国際博覧会協会

「TEAM EXPO 2025」テーマセッション

大阪・関西万博開幕1年前イベントとして2023年9月より行っている自然・環境セッションにヘルスケア、クリエイティブの2テーマを追加・拡大したテーマセッションとして開催。万博に関わる講師を招き、セミナーを開催した他、ピッチや展示を行いました。

開催日：2024年4月12日



「TEAM EXPO 2025」グローバルセッション～未来のモビリティ～

エアモビリティの未来を牽引する米国法学博士、日本のパーティポート開発のパイオニア、そして日本のeVTOLメーカーのグローバルインテリジェンスオフィサーが「空飛ぶクルマ」の実用化と、2025年大阪・関西万博を超えて、次世代の街づくりとのシナジーを生み出す空の移動・輸送の可能性を探究。エアモビリティをテーマに国の垣根を越えて議論、共創、交流しました。

開催日：2024年4月11日



「TEAM EXPO 2025」グローバルセッション ～次世代・インクルージョン～

インド・ベンガルで世界課題を解決する企業・団体に、おおさかATCグリーンエコプラザでのグローバルセッションに参加していただきました。大阪・関西万博の「テーマウィーク」プログラムの8つのテーマに沿って、展示ブースの設置やプレゼンテーションを行い、終了後は交流会で親睦を深めました。

開催日：2024年6月18・19日



ROAD to 2025 EXPOカウントダウンセミナー

大阪・関西万博でのスイスパビリオンのご紹介とスイスの誇る「スタートアップトップ100」を代表して地球環境分野に特化した企業3社を紹介し、日本企業とのビジネスマッチングの場を提供しました。

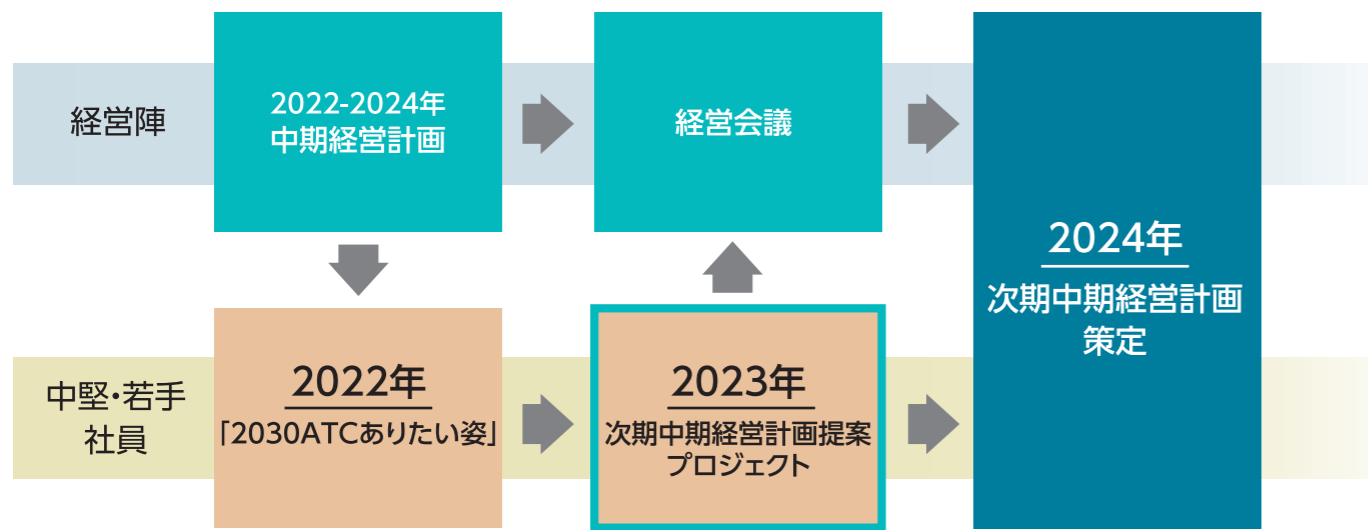
開催日：2023年10月3日
主催：おおさかATCグリーンエコプラザ、在大阪スイス領事館、スイスネクスト



次期中期経営計画提案プロジェクト

中堅・若手社員から 次期中期経営計画への提言

2022年、中堅・若手社員による「2030ATCのありたい姿」を策定しました。本年度はさらに一歩踏み込み、次世代リーダーたちの取り組みとして「経営者視点」を持って、次期中期経営計画への提言として、既存の枠にとらわれない提案を行いました。



2030 ATCのありたい姿
BEYOND
期待を超え、未来をつかむ

3C/SWOT/
クロス分析

全社員対象
アンケート&分析

計10回にわたる
議論

分析にはchatGPTData Analysisを使用

2028 VISION

新しい価値創造 × 豊かな未来創造

01

スピード感と意欲をもって
挑戦できる人間・組織へ

02

全社的マーケティングによる
ATC発トレンドの創出

03

イノベーションで
未来を切り拓く

外資系 ATC入居の決め手 テナントさんに聞く



GL events Japan 株式会社
ディレクター **クアントマ** 氏



BEYOND LIMITS 株式会社
CEO **ミケーレ サルガレロ** 氏

— 事業概要について

当社は1978年フランスで設立して以来、イベント業界を中心に、さまざま国家プロジェクトの会場や施設の設計から建設、イベント管理までを一貫して行ってきました。2025年の大阪・関西万博に向けて、エンド・ツー・エンドのプロジェクトソリューションの専門知識を活かし、パビリオンの建設、イベント運営のサポート体制を整えています。

— ATCに入居を決めた理由

ATCには便利な点がたくさんあります。その中から2つあげるとすると、1つは万博会場がとても近いこと。ATCから万博会場への移動時間は、車でわずか10分です。しかも、博覧会協会が入る大阪府咲洲庁舎も連絡通路でつながっていますし、同じビル内にクライアントやパートナー企業が入居しているという物理的なアクセスの良さは大きな利点です。

2つ目の理由は職場環境が整っていることです。ATCはビル内に、コンビニやレストランなどが充実し、駅にも直結していることはここで働くメンバーにとっても大きなメリットです。

— 万博に向けての抱負

万博開催に向けて作業も順調に進行しています。ATCのアドバンテージを十分に生かすためオフィスを拡充し、メンバーを増やしていき、万博の成功に協力していきます。

— 事業概要について

ビヨンドリミッツはミラノ万博、シンガポール万博、ドバイ万博など世界博覧会のプロジェクトマネジメントを専門とする国際企業です。ビヨンドリミッツKKはその日本支社であり、2025年大阪・関西万博に協力できることを非常に誇りに思っています。

— ATCに入居を決めた理由

数年前に博覧会協会との打合せで幾度かATCに出入りしていた時に、ATCがオフィスを提供していることを知り「この場所に事務所を構えるしかない！」とインスピレーションが沸きました。実際に入居すると、オフィスはかなり広くて、館内はリニューアルされていてきれいです。フードコートも素晴らしく、私たちのクライアントも非常に満足しています。

また、当社はさまざまな国と仕事をしていますが、万博会場に車で10分で到着できるアクセスの良さは戦略的にも大きなメリットです。

— 万博に向けての抱負

大阪・関西万博まで1年をきり、現実味を帯びてきています。万博会場に近くATCを中心に万博関連のステークホルダーが集結しているのは、本当にありがたいことです。これからここで、万博の開催に協力できることを楽しみにしています。

組織の概要

名称及び代表者名
アジア太平洋トレードセンター株式会社
代表取締役社長 木村 繁

所在地
本社 大阪府大阪市住之江区南港北
2丁目1番10号

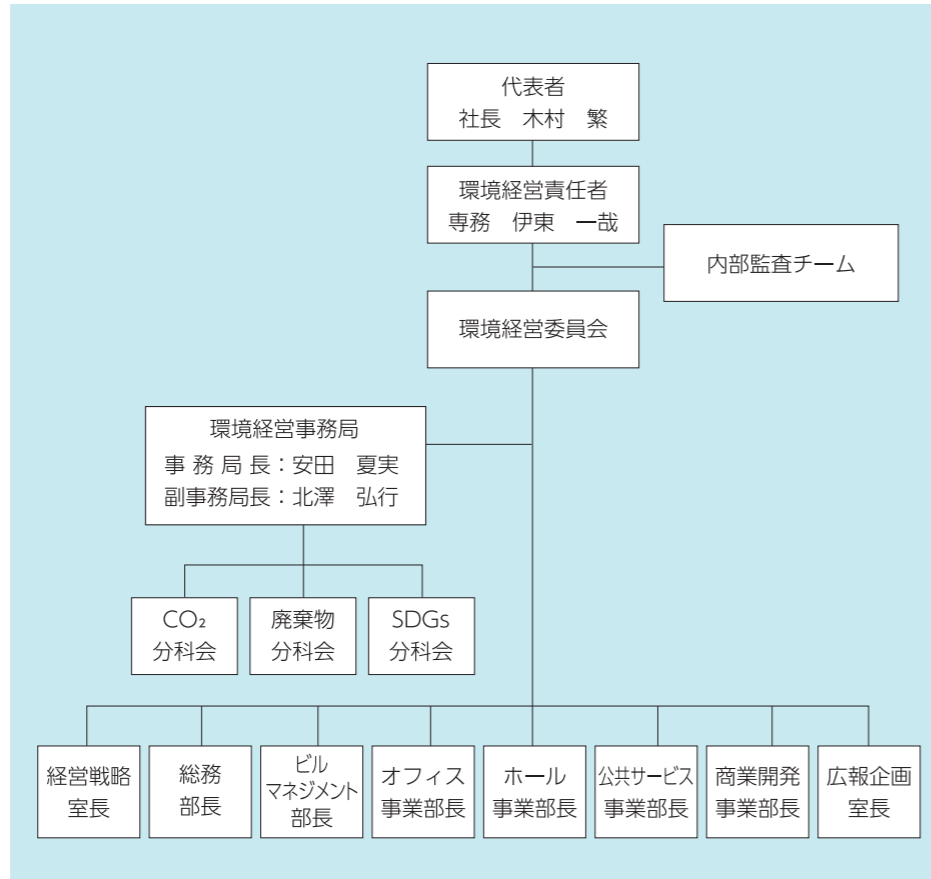
環境経営責任者及び担当者
責任者 専務取締役 伊東 一哉
担当者 安田 夏実
連絡先 06-6615-5000

事業内容
不動産の賃貸及び管理、各種催物、
展示会の企画及び開催、駐車場運営 他

事業の規模
売上高 62.6 億円 (2023 年度)
従業員 58 名
延べ床面積 336,000 m²

事業年度
4月1日～3月31日

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



認証・登録の 対象組織・活動

登録組織名
アジア太平洋トレードセンター株式会社

対象事業所
ATCビル

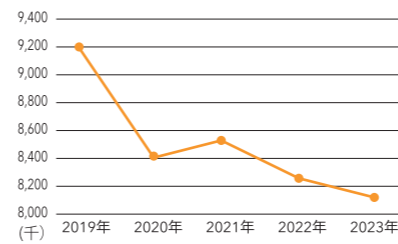
対象外
なし

活動
不動産の賃貸及び管理、各種催物、
展示会の企画及び開催、駐車場運営 他

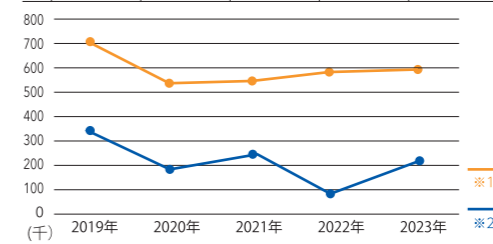
	役割・権限・責任
代表者(社長)	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境経営責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境経営責任者(専務)	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
内部監査チーム	環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
環境経営委員会	環境経営方針・計画の審議 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境経営事務局 事務局長：総務部長 副事務局長： 公共サービス事業部長	環境経営責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規など取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績 (※)

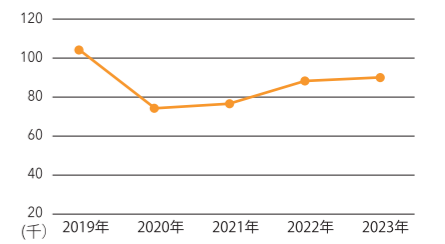
2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
9,212,811	8,413,937	8,530,726	8,233,028	8,119,033



2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
※1 702,420	539,760	558,140	591,160	597,400
※2 338,246	189,756	242,400	80,779	221,026



2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
103,933	75,334	78,459	87,547	89,950



環境経営目標及びその実績 (※)

項目	年度 目標比	基準値 (基準年)	2023年		目標比	達成 状況	2024年 (目標)	
			(目標)	(実績)				
電力による 二酸化炭素削減	ATCホール 除く全館 100% [○]	kg-CO ₂	5,809,867	4,915,147	4,893,158	100%	○	4,857,049
		基準年度比	2019年	84.6%	84.2%			83.6%
	売上高原単位	kWh/千円	3.09	2.61	2.67	—	×	2.58
電力による 二酸化炭素削減	ATCホール 85% [○]	kg-CO ₂	134,251	102,031	86,320	85%	○	100,688
		基準年度比	2019年	76.0%	64.3%			75.0%
	稼働率原単位	kWh/日	1,636.33	1,243.61	1,130.46	—	○	1,227.24
熱供給による 二酸化炭素削減	ATCホール 除く全館 108% [×]	kg-CO ₂	3,171,543	2,838,531	3,065,967	108%	×	2,806,815
		基準年度比	2019年	89.5%	96.7%			88.5%
	売上高原単位	GJ/千円	0.0094	0.0084	0.0091	—	×	0.0083
熱供給による 二酸化炭素削減	ATCホール 81% [○]	kg-CO ₂	97,151	90,350	73,587	81%	○	89,379
		基準年度比	2019年	93.0%	75.7%			92.0%
	稼働率原単位	GJ/日	6.61	6.14	4.95	—	○	6.08
一般廃棄物の 削減	全館 112% [×]	kg	702,420	533,839	597,400	112%	×	526,815
		基準年度比	2019年	76.0%	85.0%			75.0%
産業廃棄物の 削減	ATCホール 除く全館 137% [×]	kg	305,126	150,122	205,616	137%	×	147,071
		基準年度比	2019年	49.2%	67.4%			48.2%
産業廃棄物の 削減	ATCホール 60% [○]	kg	33,120	25,569	15,410	60%	○	25,237
		基準年度比	2019年	77.2%	46.5%			76.2%
リサイクルの推進 (2021年度から追加)	リサイクル率 84% [×]	リサイクル率	37.4%	47.6%	39.8%	84%	×	48.6%
		基準年度比	2019年	127%	106%			130.0%
コピー用紙の削減	101% [×]	枚	644,015	426,338	431,033	101%	×	419,898
		基準年度比	2019年	66.2%	66.9%			65.2%
水道水の削減	95% [○]	m ³	103,933	95,099	89,950	95%	○	94,059
		基準年度比	2019年	91.5%	86.5%			90.5%
グリーン調達・ グリーン購入の推進	グリーン購入比率 129% [○]	グリーン購入比率	12.9%	46.0%	59.5%	129%	○	47.0%
		基準年度比	2019年	357%	461%			364.3%

※二酸化炭素排出係数 0.318kg-CO₂/kWh(関西電力の2019年度調整後の係数) ※地域冷暖房のCO₂排出係数 0.057t-CO₂/GJ
 ※二酸化炭素排出係数については当社の活動内容での実績を見るため固定値にしています。
 ※2021年度は再生可能エネルギー3%、2022年度からは8%

環境経営計画の取組結果とその評価

表組のマーク:◎よくできた ○まあまあできた
△あまりできなかった ×全くできなかった

CO₂

電力による 二酸化炭素削減

全館(ATCホール除く) **100%**[◎]

館内のLED化推進が目標達成に貢献

地球温暖化などの影響により、夏場は冷房、冬場は暖房による電力使用量の増加が心配されましたが、館内LED工事が実施されたことで、電力使用量が抑制され目標達成となりました。

オフィス専有部はLED工事の進捗率が94%となり、照明にかかる電力使用量が実施前の41.4%に大きく低減されました。

数値目標と実績	達成状況
目標4,915,147 kg-CO ₂ ▶ 実績4,893,158 kg-CO ₂	○
おもな取り組み計画	達成状況
電力使用量のうち再生可能エネルギーを8%採用	◎
エスカレーター、階段の利用促進	○
事務所内の室温を夏28度・冬20度推奨	○
OA機器や家電製品購入省エネ商品推奨	○
PCの電源OFFとスリープモードの時間制限設定	○
デスクトップPCからノートPCへの移行	○

ATCホール **85%**[◎]

照明のLED化により目標を達成

ATCホールの稼働率が73.7%となり、コロナ前の基準年度を上回る水準(2019年度稼働率70.5%)となりましたが、照明のLED化による電力使用量の低減等により目標達成することができました。

数値目標と実績	達成状況
目標102,031 kg-CO ₂ ▶ 実績86,320 kg-CO ₂	○
おもな取り組み計画	達成状況
自主催事によるグリーン電力の導入	○

2024年度から再生可能エネルギー 比率を8%→20%に

CO₂削減に向けて、再生可能エネルギーの採用を進めてきました。2021年の3%から2022年には8%に引き上げ、2024年度からは、さらに20%にアップさせることに決定しました。

熱供給による 二酸化炭素削減

全館(ATCホール除く) **108%**[×]

夏冬の厳しさが影響

例年を上回る夏場の気温上昇、冬場の気温低下により、空調使用量は増加し目標未達成となりました。(当社の熱供給は未利用エネルギーの海水を全面的に利用した地域冷暖房システムです)

数値目標と実績	達成状況
目標2,838,531 kg-CO ₂ ▶ 実績3,065,967 kg-CO ₂	×
おもな取り組み計画	達成状況
空調の適正温度設定	○
デマンドコントロールしながら効率の良い空調運転	○
催事搬出入時等、大扉の開閉ルールを作り注意喚起を行う	○

2024年度予定

2024年度は気候変動適応策として、デマンドコントロールを図りながら良質な館内環境の提供に努めます。

ATCホール **81%**[○]

イベント主催者とともに空調管理による節電を推進

例年に比べて夏場の気温上昇や冬場の気温低下の影響がありましたが、イベント主催者とともに空調運転の効率化に努めたことで、目標を達成することができました。

数値目標と実績	達成状況
目標90,350 kg-CO ₂ ▶ 実績73,587 kg-CO ₂	○
おもな取り組み計画	達成状況
利用者へ空調の適正温度の呼びかけ	○
協力会社への節電の要請	○

再生可能エネルギー比率の推移



廃棄物

一般廃棄物の削減

全館 **112%**[×]

来場者増加により廃棄物量が増加

今年度はオフィス入居率のアップやコロナ5類移行後の経済活動の活性化に伴い、入居テナントの一般廃棄物はほとんどの月で増加しており、目標達成はなりません。また、2021年度途中からATCホールの催事等から出る廃棄物の分別を強化し、一部を一般廃棄物としてリサイクル等の処理をしたことで、+24,802kg、4.3%分増加しました。2022年度から開始した各店舗の食品残渣量測定と報告の要請は本年度も継続しており、優秀店舗の表彰を行いました。

数値目標と実績	達成状況
目標533,839 kg ▶ 実績597,400 kg	×
おもな取り組み計画	達成状況
使い捨て商品の購入を削減	○
分別の徹底による再資源化の推進(社内・テナントへの周知)	◎
昨年度から飲食テナントに生ごみ計量記録の提出を要請	◎
対象店に使い捨てプラスチック品名と削減内容の提出を要請	◎

2024年度予定

2024年度はプラスチックごみの削減やさらなる分別推進に努めます。

産業廃棄物の削減

全館(ATCホール除く) **137%**[×]

臨時の廃棄物処理実施により処理量が増加

2021年度から開始した廃棄物の分別推進は入居テナントの協力で削減につながっています。2023年度は万博需要に伴う賃貸区画の整備等により、目標を大きく超えた産業廃棄物処理を行いました。

数値目標と実績	達成状況
目標150,122 kg ▶ 実績205,616 kg	×
おもな取り組み計画	達成状況
テナントの産廃は各自で適正処分を要請	○
電子マニフェストの導入による法令順守の徹底	◎

ATCホール **60%**[◎]

イベントでの廃棄物削減の他、分別回収を徹底

ATCホールの稼働率は基準年度に近い水準まで回復しましたが、イベントから発生する廃棄物量の削減や、ダンボール、ペットボトルなどを分別することで、産業廃棄物の削減とリサイクル率UPに寄与しました。

数値目標と実績	達成状況
目標25,569 kg ▶ 実績15,410 kg	○
おもな取り組み計画	達成状況
計測による数値の見える化	○

化石ハンター展 「SDGs for MICE評価制度」導入



2022年夏のテオ・ヤンセン展に引き続き、2023年度開催の化石ハンター展でも「SDGs for MICE評価制度」を導入しました。



ペットボトルキャップを 分別・リサイクルし寄付

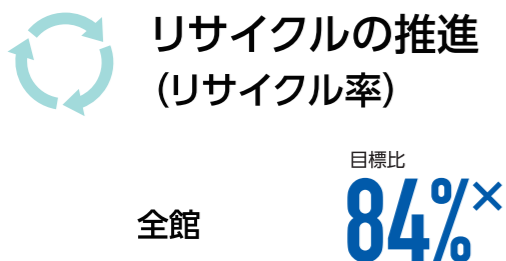
ATCでは、館内で集められたペットボトルキャップを各種団体に寄付する活動を2021年度より行っています。今年度は大阪市立中央授産場に寄付しました。



環境経営計画の取組結果とその評価

表組のマーク:◎よくできた ○まあまあできた
△あまりできなかった ×全くできなかった

廃棄物

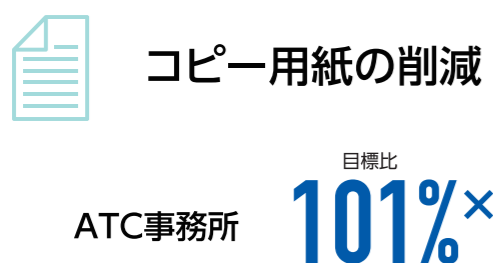


臨時の産業廃棄物処理を実施

テナントやホール利用者の協力で引き続き分別を推進していますが、今年度は万博需要に伴う賃貸区画の確保のため産業廃棄物が増加し、リサイクル率も目標未達成となりました。

数値目標と実績	達成状況
目標47.6% ▶ 実績39.8%	×
おもな取り組み計画	達成状況
プラごみの分別を推進する	△

廃棄物



ペーパーレス化を推進するも、業務量増加に伴い使用量増

書類の電子化、会議のペーパーレス化、社員へのタブレット端末の普及等により紙の削減は進んでいます。一方で、コロナ5類移行により対面でのセミナー等が増えたこと等により、紙の使用量も増加し、目標未達成となりました。

数値目標と実績	達成状況
目標426,338枚 ▶ 実績431,033枚	×
おもな取り組み計画	達成状況
紙での保管からPDF等データでの保管を推奨	○
申請書類の電子化とクラウドストレージの拡充	○

水道水

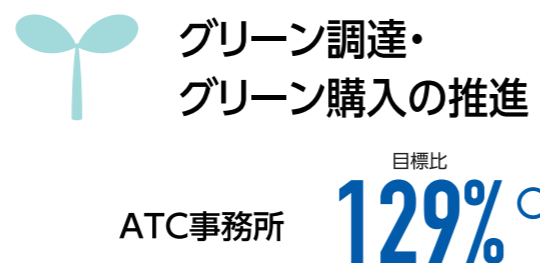


節水型トイレへの更新等で節水効果がアップ

コロナ5類移行や入居率アップに伴い来場者は増加しましたが、節水型トイレへの更新が進んだことなどにより、目標達成となりました。

数値目標と実績	達成状況
目標95,099m ³ ▶ 実績89,950m ³	○
おもな取り組み計画	達成状況
トイレ個室にタッチレス式自動洗浄装置、擬音装置の設置	○

グリーン調達・購入



グリーン購入対象商品の選択が全社的に浸透

グリーン購入対象商品を選ぶことが全社的に浸透してきたため、今年度は目標達成することができました。

数値目標と実績	達成状況
目標46.0% ▶ 実績59.5%	○
おもな取り組み計画	達成状況
事務用品はグリーン購入法適合商品を優先して購入	○
一時的な利用はレンタルを検討する	○
リサイクルペーパーの使用	○

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例	
ビル管理法	ATCビル(特定建築物)

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されてきました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

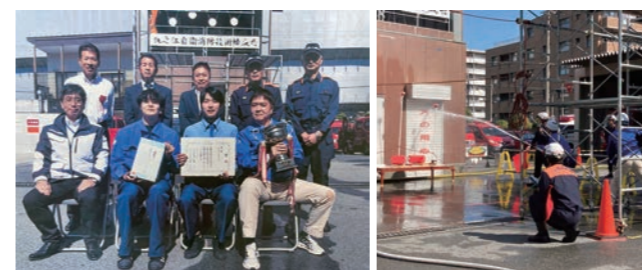
適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
省エネ法	エネルギー使用量原油換算1500KL/年以上(※1)
地球温暖化対策推進法	エネルギー使用量原油換算1500KL/年以上(※2)
グリーン購入法	購入品・調達品、購入先・外注先
消防法(危険物)	危険物の保管
顧客要求事項	品質管理

※1:当社は省エネ法上の「特定事業者」です。
※2:当社は地球温暖化対策推進法上の「特定事業所」です。

防災対策

住之江自衛消防技術練成会において「屋内消火栓操法の部」優勝

ATCは、住之江区内に在籍する自衛消防組織を有する企業が所属する住之江自衛消防協議会(担当:住之江消防署)に加盟しています。10月に行われた消防技術を競う「住之江自衛消防技術練成会」では「屋内消火栓操法の部」で優勝することができました。



地震発生時等エレベーター内閉じ込め対策として防災キャビネットを設置

お客様利用の多いエレベーター内に防災キャビネットを設置しました。キャビネット内には、手回し充電ライト・アルミブランケット・救急用品セット・ケミカルライト・非常用飲料水・非常用食料・袋式トイレ自立タイプ・ポンチョ・救助笛・プラスチック扇子・ポケットティッシュ等、緊急時に必要最低限の装備が収納されています。



津波警報発令に伴う自衛消防訓練を実施

和歌山県沖を震源とする大規模地震が発生し、津波警報の発令を想定して自衛消防訓練を定期的に行っています。今年度は6月に行い、11月には火災を想定した訓練も実施しました。



階段避難体験訓練

2023年9月・10月には有事の際、支障なく避難階である地上階(2階または1階)に避難できるように、当社の対象社員全員で、避難階段への経路の確認から地上階まで降下する体験訓練を実施しました。



オフィスのレイアウト変更

地震発生の際、ハイキャビネットの転倒を想定して、書類を整理し、一部を撤去しました。

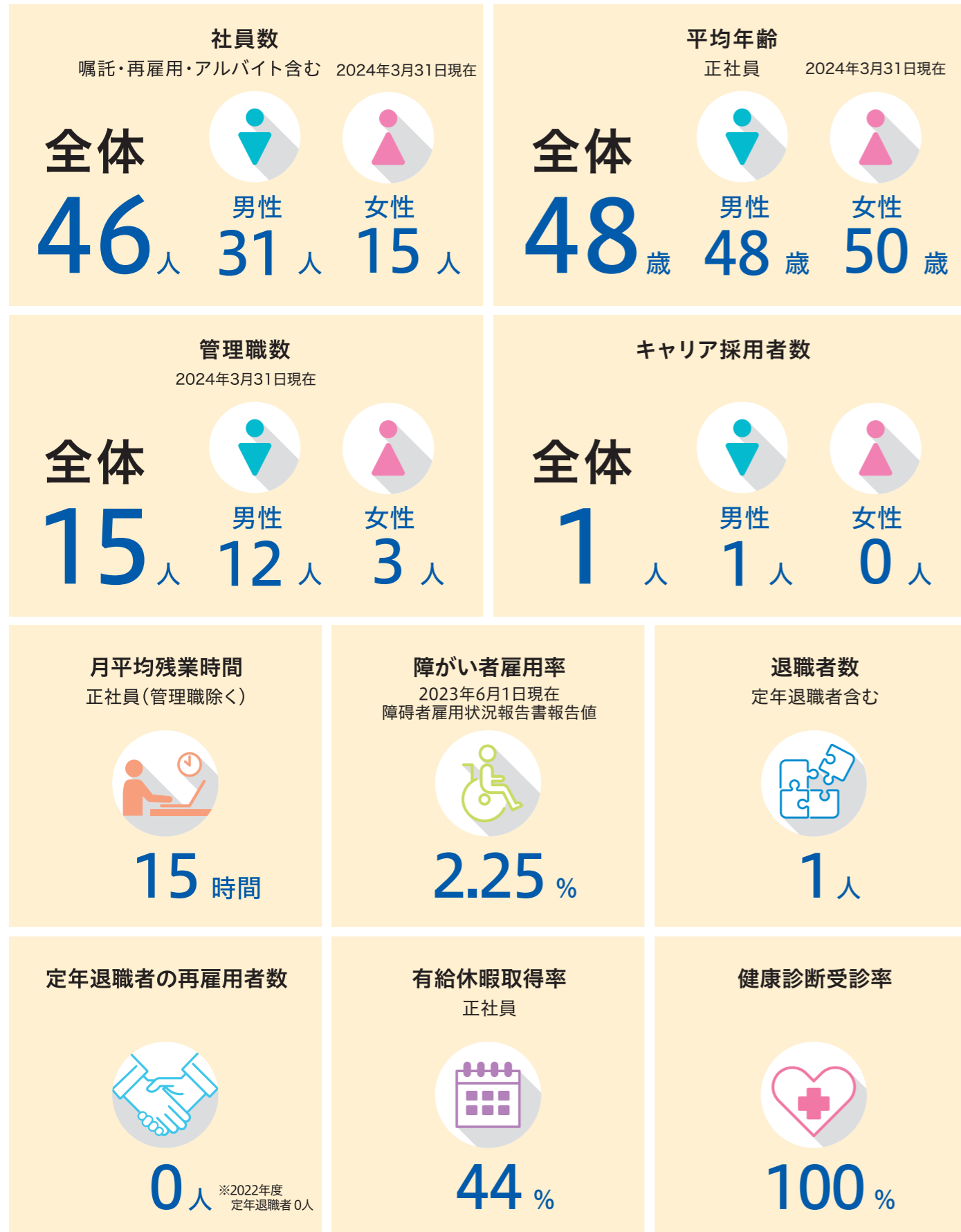


防災管理体制の明確化

2024年1月1日に「令和6年能登半島地震」が発生しました。ATC館内でもエレベーター1基が停止、一部壁のひび割れ等が発生しましたが、大きな混乱はありませんでした。こうした状況をうけ、休日・夜間等の防火・防災管理体制を明確化し、ATC館内において、震度3以下の地震が発生した場合でも、館内業務放送を実施することになりました。

数字でみる ATCの働き方

2023年度



環境・社会活動について

ATCでは事業活動を通して環境や社会視点で情報発信しています。エコアクション21の活動を通して、環境経営方針に基づく取り組みをテーマごとに社内活動や対外活動を紹介します。



エコアクション21関連社内会議

環境経営委員会
2023年6月8日・11月29日
…… 数値や取組みの報告を行う

環境経営事務局会議
毎月第3金曜日 ……3つの分科会に関連する各部の取組みについて数値や取組みの報告と意見交換を行う



健康経営優良法人認定


ATCは社員が心身ともに安心して健康的に働くことができる優良な健康経営を実践している企業として認定されました。

ごみ減量優良建築物

2022年度に引き続き、大阪市環境局より「優良なごみ減量・適正処理を実施している」大規模建築物であると認定されました。

環境経営事務局

(各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています)

1 **ATC運営会社ホームページにサステナビリティページを追加** 


ATC運営会社ホームページに、サステナビリティページを設け、下記の項目を追加しました。

- ・環境における取り組み
- ・人材育成と働きやすい職場づくりのための取り組み
- ・地域との取り組み
- ・コンプライアンス・リスクマネジメントの推進における取り組み
- ・若手・中堅社員が考える「2030ATCのありたい姿」




廃棄物分科会

(各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています)

1 **プラスチック分別実証実験を開始** 

プラスチックごみは汚れているとリサイクルできないため、弁当殻、カップ麺容器などを水洗いしてから捨てる専用ごみ箱を2024年3月にITM棟の2箇所に設置しました。翌月の4月からはITM棟全館に展開しています。



2 **飲食店の生ごみ削減を継続的に実施** 

昨年に引き続き2023年度も飲食店において生ごみ削減の取り組みを実施しました。売上1万円あたり発生する生ごみ量を指標とし、全店月間生ごみ排出量を指標の範囲内に抑えることを目指します。



CO₂分科会

(各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています)

CO₂ 1 オフィス専有部LED化 2期工事が完了



LED照明化の第2期工事を実施しました。2017年の工事開始以来、2023年度末までに、オフィス専有部で24,471台をLED化し、進捗率は94.0%になりました。



オフィス専有部LED照明化工事進捗率

0期 (2017年~2022年上期)	9,135台
1期 (2022年10月~2023年3月)	4,801台
2期 (2023年6月~2024年3月末)	10,535台
合計	24,471台
オフィス専有部全体	26,029台
2024年3月末現在の進捗率	94.0%

※2023年度は、オフィス専有部以外に商業ゾーンの共用部照明820台をLED化しました。

CO₂ 2 女子トイレに擬音装置、 自動水栓装置等設置



女子トイレ個室に擬音(流水音)装置を163台、節水タッチレス式自動水洗浄装置を236台設置しました。また、既存フラッシュバルブの洗浄水量が1回12ℓであったのに対して、小で6ℓ、大で10ℓで済むためトイレの節水に役立っています。

CO₂ 3 冷水契約容量(デマンド) 抑制



2023年度より冷水の契約容量(デマンド)を41,475MJ/hから39,243MJ/hに低減することができ、CO₂排出量抑制につながりました。

CO₂ 4 カーシェアリングサービス 「タイムズカー」



2024年4月より会員制の車の貸出サービス「タイムズカー」を屋外駐車場に2台分設置しました。車がないテナント様でも気軽に社用車として利用できることで満足度向上につながるとともに、シェアリングすることで保有車に比べCO₂排出量が削減されます。



SDGs分科会

(各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています)

SDGs 1 『まいど!大阪EXPOプログラム』 に参加



大阪観光局が開発した新しい旅行プラン『まいど!大阪EXPOプログラム』に『万博エバンジェリストプログラム』として参加しました。



SDGs 2 第7回サキシマ ベイエリアクリーン アップ大作戦



コスモスクエア開発協議会とサキシマmeetsおそうじ委員会が企画し、春の海ごみゼロウィークにあわせて、7回目となるサキシマベイエリアクリーンアップ大作戦を開催しました。



SDGs 3 大和川・石川 クリーン作戦参加



2023年3月3日、河川清掃に参加し拾ったごみの一部は、4月13日の万博1年前イベントやごみ祭りで使用しました。



SDGs分科会

(各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています)

SDGs 4 第11回咲洲 こどもEXPO2023



2023年度は規模を拡大して、子どもたちが新しい世界に触れたり、好きなことへの興味をさらに深める機会となる過去最多63のプログラムを実施しました。



開催日: 2023年10月28日

SDGs 5 ごみ祭り



大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー中島さち子氏が主催するごみ祭り。多くのごみを材料に「祭り」と「いのち」をコンセプトにアートを創造するイベントを、咲洲モリーナ(西尾レントオール)とATC海辺のステージで開催しました。ごみ問題の「自分ごと化」を促し、あらためて一人ひとりが「SDGs」の背景や取り組みについて考えるきっかけとなるイベントを目指しています。

開催日: 2024年5月3日



SDGs 6 ワクワクEXPO with 第19回食育推進全国大会



食育推進運動を重点的かつ効果的に実施する「食育月間」の中核的な行事として、国と都道府県等との共催によって開催される全国規模の食育推進全国大会が開催されました。本イベントはSDGs for MICE認定を取得しています。

開催日: 2024年6月1・2日

SDGs 10 IoT・ロボットビジネス実証実験支援



IoT・ロボットテクノロジーを活用した新たな製品・サービスの開発・改良に必要な実証実験フィールドとして、ATCをご利用いただいています。「新しいサービスが生まれ続ける街」「IoT・RT関連ビジネスの創出拠点」としてのブランディングを行っていく取り組みです。



大切な人へ「声」を届ける! 音声メッセージギフトの実証実験



中之島ロボットチャレンジ2023で、ロボットを使った屋内・屋外シームレス走行とゴミ回収実験



ドローンボートを利用したドローン遠隔操縦の実証実験



次世代型バーチャル認知脳トレーニング体験会

SDGs 7 サキシマmeets!



咲洲で働く団体・企業がフラットに情報発信・共有・交流できる場として隔月で開催しています。



SDGs 8 EXPO 2025 OFFICIAL STORE オープン



開幕1年前に合わせ2024年4月13日、O's棟北館に2025大阪・関西万博オフィシャルストアがオープンしました。



SDGs 9 「大阪ベイエリアMICE」4施設に おける包括的連携協定を締結



2025年大阪・関西万博の開催、IR開業を見据えて「大阪ベイエリアMICE」4施設(インテックス大阪、グランドプリンスホテル大阪ベイ、ATCホール、ホテルクラシア大阪ベイ)における包括的連携協定を2024年5月1日に締結しました。国際会議や大規模展示会の誘致やSDGsの取組み強化を目的としています。

SDGs・万博分科会

(各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています)

〈デザイナー・クリエイターのための独立・創業支援施設〉

大阪デザイン振興プラザ



面積4,500㎡セミナー件数63件(2024年3月末)

出展者数
43社

SDGs 1 クリエイティブTシャツ展2023の開催

様々なジャンルのクリエイターやデザイン系の学生の作品をTシャツとして展示・販売する「クリエイティブTシャツ展2023」を開催しました。また、ATCの夏休み催事「化石ハンター展～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～」との連動イベントとして開催しました。



SDGs 2 わたしのマチオモイ帖つくってつなぐ展/ ODP こどもの森とイラストマルシェ

日本全国のプロのクリエイターが、自分にとって大切な町、ふるさとの町、学生時代を過ごした町や、今暮らす町など、各地の町で育まれた「わたしだけの思い」を小冊子や映像作品にして紹介する展覧会活動である「わたしのマチオモイ帖 つくってつなぐ展」を、恒例の「ODPこどもの森とイラストマルシェ」とともに開催しました。



〈世界の住宅建材・部材・設備の総合展示場〉

ATC輸入住宅促進センター(IHPC)



面積3,200㎡セミナー件数9件(2024年3月末)

出展者数
115社

SDGs 3 WOOD MEETS 「夏休み木材にぎわい展開催」

WOOD MEETS出展団体(主に高知県・島根県)の地域産材を活かした住宅マテリアルや建材、木製品を一般消費者向けに展示する合同イベントを、昨年度に引き続き、ATCビルITM棟2階のセントラルアトリウムで開催しました。



SDGs 4 「IFFT2024東京国際家具見本市」出展

東京ビッグサイトで開催された「IFFT2024東京国際家具見本市」の特設ゾーンにWOOD MEETS出展団体の取り組みのPRや国産木材によるデザイン性優れた商品をPRするために、特別出展しました。



SDGs・万博分科会

(各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています)

〈日本最大級の環境ビジネス常設展示場〉

おおさかATCグリーンエコプラザ



面積4,500㎡セミナー件数52件(2024年3月末)

出展者数
120社

SDGs 5 EXPOゾーンの設置

大阪・関西万博の機運醸成や万博パビリオンのPRの場として、エコプラザをリニューアルして、新たに「EXPOゾーン」を新設しました。万博関連の展示コーナーと撮影スポット(カウントダウンクロックとミヤクミヤクパネル)も設けた結果、イベント開催や団体見学の人気スポットになりました。



SDGs 6 TEAM EXPO2025 自然・環境セッションの開催

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会と共催で、『自然・環境分野で共創し、未来へのワクワクを生み出そう!』をテーマとし、展示・セミナー・ピッチイベントである「TEAM EXPO 2025 自然・環境セッション」を開催し、多くの参加者様におこしいただきました。



〈豊かな高齢社会をめざす介護と福祉の展示場〉

ATCエイジレスセンター



面積5,000㎡セミナー件数40件(2024年3月末)

入所企業数
94社

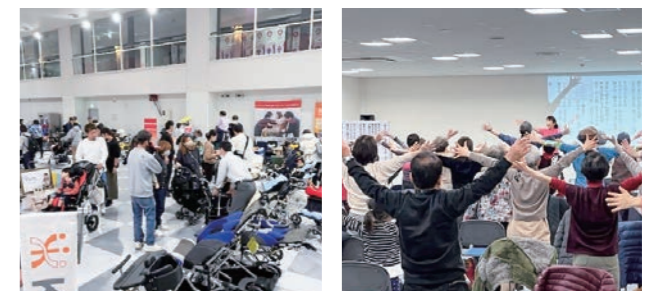
SDGs 7 介護ロボットプラットフォーム事業の充実

3年目となった厚生労働省の「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」は、補助金説明会を現地とオンラインのハイブリッドで実施し、併せて合計3社に対して介護ロボット導入支援のための伴走支援を行いました。



SDGs 8 「関西キッズ機器展」 「エイジレス健康フェスタ'24」開催

障がいを持つ子どもに対して、様々な福祉機器関連の企業団体が集まり体験展示を実施する「関西キッズ機器展」、健康・介護予防の情報発信や生涯学習のきっかけ作りとなる催事を開催し、高齢者の健康促進・介護予防活動を啓発する「エイジレス健康フェスタ'24」は昨年度から規模を拡大して開催されました。



SDGs 9 大阪府介護生産性向上支援センターがエイジレスセンターに開設

2024年6月、大阪府介護生産性向上支援センターがエイジレスセンターに開設されました。

SDGs 取り組み一覧

2023年度の各分科会の取り組みを主なSDGsのゴールに紐づけています。それらを一覧にすると、取り組んでいるゴール、着手できていないところがわかります。次年度以降、引き続き重点的に取り組む項目のほか、まだ○の少ない項目の社会課題への取り組みにも活かしていきます。

項目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
※環境経営事務局																		
※	ATC運営会社ホームページにサステナビリティページを追加																	○
廃棄物分科会	ペットボトルキャップを分別・リサイクルし寄付	○											○					
	プラごみ分別実証実験を開始												○					
	飲食店の生ごみ削減を継続的に実施												○					
CO ₂ 分科会	2024年度から再生可能エネルギー比率を8%→20%に							○										
	オフィス専有部LED化2期工事が完了							○										
	女子トイレに擬音装置、自動水栓装置等設置							○										
	冷水契約容量(デマンド)抑制							○										
	カーシェアリングサービス「タイムズカー」							○										
SDGs分科会	化石ハンター展「SDGs for MICE 評価制度」導入							○										
	『まいど!大阪EXPOプログラム』に参加																	○
	第7回サキシマベイエリアクリーンアップ大作戦												○		○			○
	大和川・石川クリーン作戦参加												○		○			○
	第11回咲洲こどもEXPO2023				○													○
	ごみ祭り				○								○					○
	ワクワクEXPO with 第19回食育推進全国大会	○	○		○													○
	サキシマmeets!																	○
	EXPO 2025 OFFICIAL STOREオープン																	○
	「大阪ベイエリアMICE」4施設における包括的連携協定を締結																	○
	IoT・ロボットビジネス実証実験支援									○								
	大阪デザイン振興プラザ				○				○				○					○
	ATC輸入住宅促進センター(IHPC)			○									○	○			○	○
おおさかATCグリーンエコプラザ				○					○			○	○				○	
ATCエイジレスセンター			○	○								○					○	

代表者による全体の評価と見直し・指示

項目	目標達成状況	目標達成状況(原単位)	2022年度	
電力による二酸化炭素削減	ATCホール除く全館	○	×	オフィス専有部LED化の前倒し実施や空調の効率運転により使用量は目標達成したが、原単位は目標未達成となった。2024年度は再生可能エネルギーの比率を8%から20%にアップさせる。
	ATCホール	○	○	稼働率が基準年とほぼ同程度に回復した中で、イベント主催者と一体になって照明や空調などでの電気使用量を抑制できたことから使用量、原単位とも目標達成となった。
熱供給による二酸化炭素削減	ATCホール除く全館	×	×	地球温暖化等による夏場の気温上昇や冬場の気温低下の影響が大きく、ビル管理会社と一体となって空調運転の効率化による空調利用量の抑制に努めたが使用量、原単位とも目標未達成となった。
	ATCホール	○	○	地球温暖化等による夏場の気温上昇や冬場の気温低下の影響があったものの、イベント主催者と一体となって空調運転の効率化に努めたことで空調使用量を抑制できたことで使用量、原単位とも目標達成となった。
一般廃棄物の削減(全館)	×	-	コロナの5類化による経済活性化と万博関連での新規テナント入居や来館者が増加しており、それに伴い一般廃棄物量も増加し目標未達成となった。	
産業廃棄物の削減	ATCホール除く全館	×	-	新規テナント入居のためのレンタル面積確保のための大量の産業廃棄物処理を複数回にわたって実施したことから目標未達成となった。
	ATCホール	○	-	イベントから発生する廃棄物の「見える化」によりイベント主催者と一緒になって廃棄物削減に努めた。
リサイクルの推進(リサイクル率)	×	-	新規入居のスペース確保のため産廃処理を複数回にわたり実施したことにより目標未達成となった。	
コピー用紙削減	×	-	コロナ5類化や万博関連業務による多忙により各部の業務量が多くなっており、それに連動してコピー用紙使用量は増加し目標未達成となった。	
水道水の削減	○	-	トイレにおいて節水対応の更新工事を実施したこと等により目標達成した。	
グリーン調達・グリーン購入の推進	○	-	総務部が事務用品などの発注に際して原則グリーン購入対象商品を選ぶことが全社的に浸透したことで目標達成した。	
SDGsの取組みと情報発信	-	-	「環境経営レポート2022」を作成し、WEBでの公開と冊子の配布を行った。	
万博を契機とした産業振興	-	-	大阪・関西万博2年前及び500日前イベントを開催。名刺に万博ロゴを入れ社外にPRした。	
社会の要請に応じた企業価値向上	-	-	次期中期経営計画策定にあたり、提案プロジェクトチームによるとりまとめ案が作成された。	

当社は、2020年度からエコアクション21を活用して環境経営を推進しています。照明のLED化は、それ以前から着手しておりましたが、一層加速させることで2024年3月末には進捗率が95.6%となりました。この間、エネルギー価格上昇の影響を受ける中、環境負荷の軽減を図りながら経費削減につなげることができました。また、購入電力における再生可能エネルギーの比率は、2021年度の3%からスタートしましたが、徐々に引き上げることで2024年度には20%となっています。

また、大阪・関西万博の開幕まであと半年あまりとなりましたが、当社ビルは立地的に近接していることもあり、万博に関連する企業、団体様の新規入居が続いております。2023年度はプラスチック分別推進の取り組みを始めましたが、入居率上昇による廃棄物の排出量の増加が著しく、目標の達成には一段の努力を要する状況です。

今年1月1日の能登半島地震は記憶に新しいところですが、当社ビルは津波避難ビルに指定されています。中期経営計画に掲げております「安心安全で快適な空間づくり」の具体策として、本年度も災害対応力の向上に努めました。消防訓練を実効性のあるものにするために内容に充実を図ったほか、万一、エレベーター内への閉じ込め事故が発生した場合に備えて、防災キャビネットをエレベーターのカゴ内に設置いたしました。これからも、環境負荷の低減を推進するとともに、災害に強い施設を目指してまいります。

代表取締役社長 木村 繁

編集後記



環境経営事務局 安田 夏実

当社は2020年度より全社的にエコアクション21に取り組み始めました。2023年5月に新型コロナウイルスの感染症状の位置づけが5類に移行し、社会経済活動が活発化したことに加え、大阪・関西万博を前にオフィス需要などが伸びたことなどにより、当社における環境経営目標は11項目中7項目が目標未達成となりました。しかしながら、近年、オフィス専有部のLED化や空調機(FCU)の更新等が進んだこと、廃棄物の分別強化、再エネの導入などにより、目標には未達ながら、基準年の2019年度比で2023年度はCO₂がおおよそ12%の削減となりました。今後は大阪・関西万博の開催等、地域の活性化が見込まれますが、需要を獲得しながら、テナント様をはじめ、様々な企業との協業によりCO₂削減にも引き続き取り組んでまいりたいと思います。



公共サービス事業部 北澤 弘行

最近、他社の取り組みや環境経営に関するセミナーなどで「Well-being」というキーワードを耳にする機会が増えました。「健康経営」や「働き方改革」、また大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に代表されるように、社員が健康的に生き生きと勤務できる環境づくりが、重要なテーマとなってきました。エコアクション21の取り組みを通じて、常に新しい知見を取り入れ、環境経営をアップデートしていければと思います。